

三菱パイプ用ファン【トイレ・洗面所・居室用】

形名
V-07PLD, V-07PXLD (-BE)
V-06PLD, V-06PXLD

取付工事説明書

工事店さま用

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 配線工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品はトイレ・洗面所・居室に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。

形名	グリル形状	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-07PLD	角形縦格子グリル	連続端子	塩化ビニル管 VU75 専用 (内径83)	木ネジ 2本
V-07PXLD / V-07PXLD-BE	インテリア(ネル)	連続端子	塩化ビニル管 VP75 (内径77) SU75 (内径75)	木ネジ 2本
V-06PLD	角形縦格子グリル	連続端子	塩化ビニル管 VP75 (内径77) SU75 (内径75)	木ネジ 2本
V-06PXLD	インテリア(ネル)	連続端子	塩化ビニル管 VP75 (内径77) SU75 (内径75)	木ネジ 2本

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

- 改造や分解はしない
(火災・感電・けがの原因となります)
お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください
- 製品を水につけたり、水をかけたりしない
(ショートや感電の原因になります)
- 交流100Vを使用する
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの本造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電氣的に接触しないよう取付ける
(漏電・発火の原因になります)

指示に従い必ず行う

注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない
(火災の原因になります)
- 湿気の多い場所（浴室・シャワー付洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など）、結露する場所には取付けない
(感電・故障の原因になります)
- 浴室など湿気の多いところには取付けない
(火災の原因になります)
- 本体取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に
(落下によるけがの原因になります)
- 部品の取付けは確実に
(落下によるけがの原因になります)
- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に
(接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因になります)
- 取付けの際は手袋を着用する
(着用しないけがの原因になります)
- 取付け後、長期間使用しない時は、分電盤のブレーカーを切る
(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)
- 電気工事は電気工務店に依頼する
(感電の原因になります)

指示に従い必ず行う

外形寸法図

■V-07PLD

■V-07PXLD (-BE)

■V-06PLD

■V-06PXLD

各部寸法は図面を参照してください。単位: mm

取付方法



- 湿気の多い場所（浴室・シャワー付洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など）、結露する場所には取付けない
(感電・故障の原因になります)

1.取付前の準備

壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

1. 取付け場所を決めて穴をあける。
●壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
●必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。

2. 壁穴にパイプを確実に固定する。
パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

- 電源線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
- 固定が不十分だと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 室内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

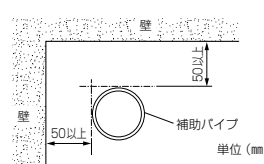
天井取付けの場合

野線工事とダクト配管

1. 右図のように野線工事をし、ダクト配管をする。
2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。
3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。
パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。

お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



2.電気工事



- 交流100Vを使用する
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)

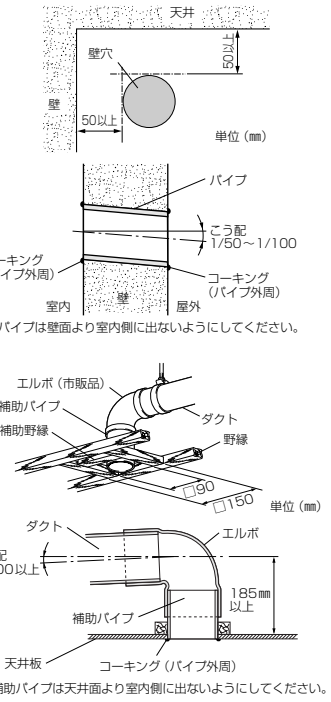
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて接続してください。

1. 電源線を室内に引き込む

- 引き込む位置は右図を参照してください。
- 電源線はVVF φ1.6, φ2.0 2芯をご使用ください。

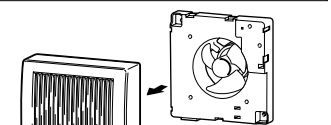
2. 電源線の先端を右図に合わせて皮むきする

- 端子部への水・ほこりの浸入を防ぐため、皮むき寸法は必ず守ってください。



3.本体の取付け（壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです）

1.本体からグリルをはずす



2. 電源線を連結端子に差し込む

1. 連結端子カバーの引掛部に手を掛け、右図のように開ける。
2. 電源線を連結端子に差し込む。
3. 連結端子が差し込まれていることを確認し、確実に連結端子カバーを元通りに閉じる。

お願い

- 電源線の皮むき部分は確実に連結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源線を連結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

3. 本体の取付け

(図は壁取付けをあらわしています。天井取付けも同様です。) 本体の上下を確認してパイプに差し込み、付属の木ネジ(2本)で固定する。

- 取付面がコンクリートの場合は、市販のコンクリートビスを使用してください。
- 石膏ボードに取付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

4. グリルの取付け

(図は壁取付けをあらわしています。天井取付けも同様です。)

1. グリルを本体に取付ける。
●グリルの方向を間違えないようにして本体にはめ込みます。
2. 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認してください。

5. 試運転を行う

- 換気扇が運転・停止するかを確認してください。
- 異常な音・振動がないかを確認してください。